

報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 30 年 8 月東北分
 (東北 6 県)」について

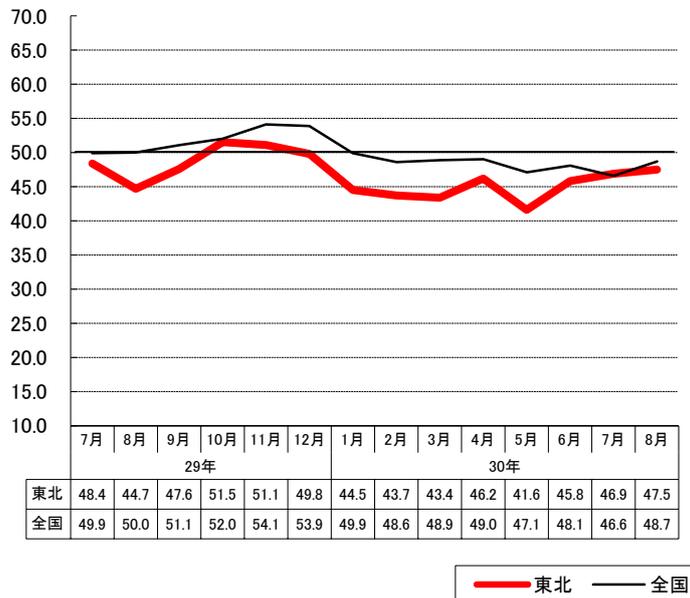
公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)取締役会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 30 年 8 月東北分（東北 6 県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

(1) 現状判断（3ヶ月前との比較、方向性 季節調整値）

現状判断 DI は「47.5」と3ヶ月連続で前月を上回った。前月と比較し+0.6ポイントとわずかに上回った。

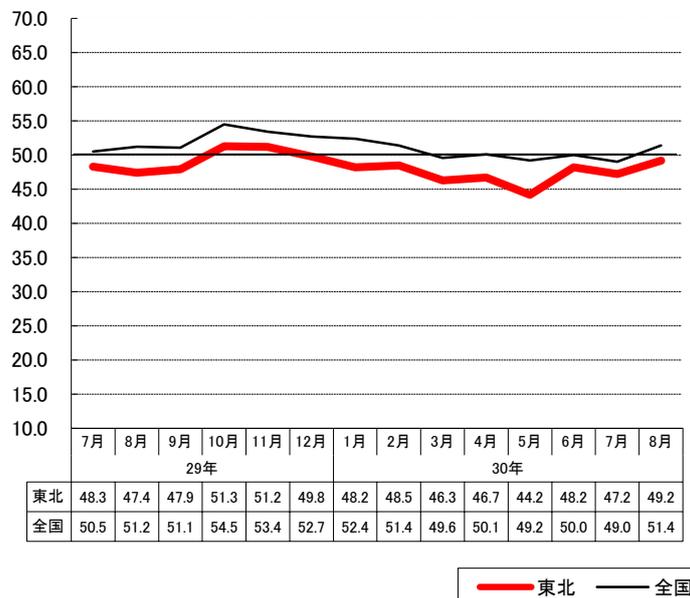
現状判断DIの推移



(2) 先行き判断（2～3ヶ月先の見通し、方向性 季節調整値）

先行き判断 DI は「49.2」と2ヶ月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+2.0ポイントとやや上回った。

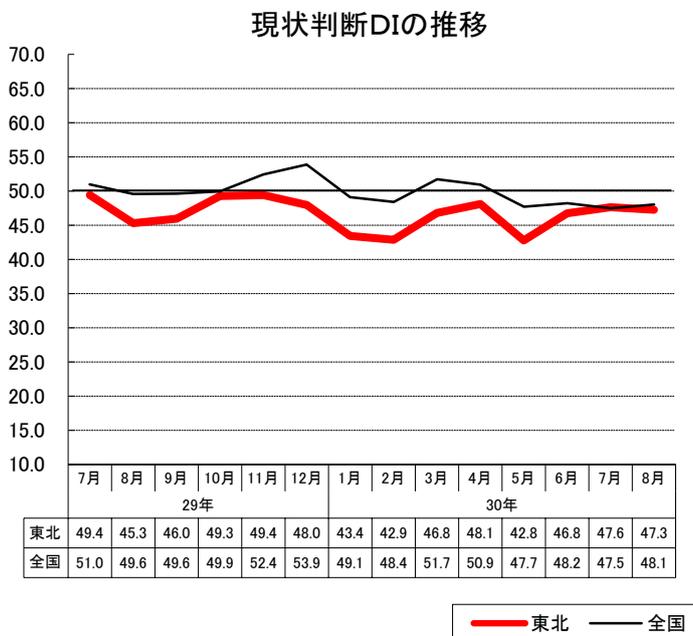
先行き判断DIの推移



2. 原数値

(1) 現状判断(3ヶ月前との比較、方向性)

現状判断DIは「47.3」と3ヶ月ぶりに前月を下回った。前月と比較し▲0.3ポイントとわずかに下回った。



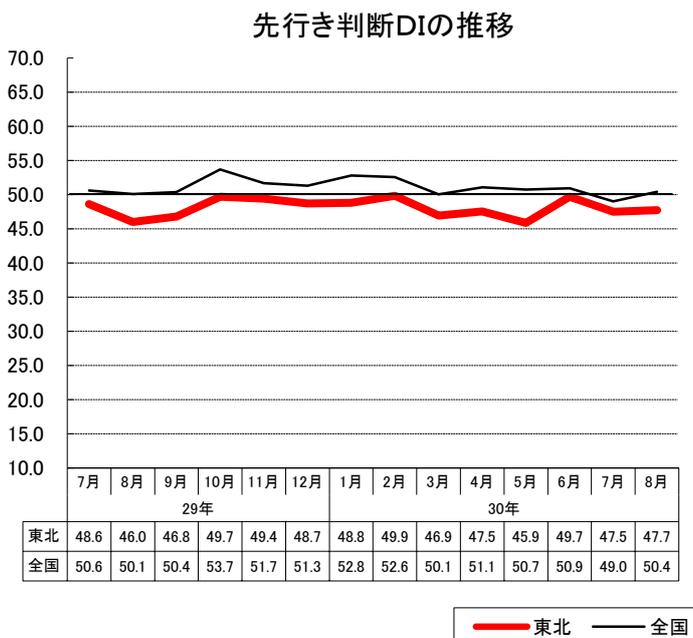
○家計動向関連…住宅販売会社、商店街、住関連専門店の業種等でDIが前月を下回ったが、レジャー施設、高級レストラン、ショッピングセンターの業種等でDIが前月を上回った。DIは「47.7」(+1.0)と3ヶ月連続で前月を上回った。

○企業動向関連…出版・印刷業、建設業、その他非製造業の業種等でDIが前月を上回ったが、農林水産業、金属製品製造業、輸送用機械器具製造業の業種等でDIが前月を下回った。DIは「43.2」(▲1.9)と2ヶ月ぶりに前月を下回った。

○雇用関連…DIは「52.6」(▲5.3)と4ヶ月ぶりに前月を下回った。

(2) 先行き判断(2~3ヶ月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「47.7」と2ヶ月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+0.2ポイントとわずかに上回った。



○家計動向関連…レジャー施設、一般レストラン、一般小売店等の業種等でDIが前月を下回ったが、住宅リフォーム、ショッピングセンター、衣料品専門店等の業種等でDIが前月を上回った。DIは「46.6」(+0.3)と2ヶ月ぶりに前月を上回った。

○企業動向関連…電気機械器具製造業、農林水産業、建設業の業種等でDIが前月を下回ったが、飲食料品卸売業、木材木製品製造業、出版・印刷業の業種等でDIが前月を上回った。DIは「49.3」(+0.7)と3ヶ月連続で前月を上回った。

○雇用関連…DIは「51.3」(▲1.3)と、2ヶ月ぶりに前月を下回った。

<参 考>

■DIの推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）DI

	29年						30年							
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
東北現状	49.4	45.3	46.0	49.3	49.4	48.0	43.4	42.9	46.8	48.1	42.8	46.8	47.6	47.3
家計動向関連	49.1	44.4	46.8	48.5	48.5	46.4	42.0	40.9	45.7	47.4	40.1	46.3	46.7	47.7
企業動向関連	48.6	44.7	45.3	50.0	50.0	48.0	41.7	45.1	46.6	49.3	45.3	44.4	45.1	43.2
雇用関連(参考)	52.5	51.3	42.5	52.5	53.8	57.9	55.0	50.0	53.9	50.0	53.9	54.2	57.9	52.6

（2）先行き判断DI

	29年						30年							
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
東北先行き	48.6	46.0	46.8	49.7	49.4	48.7	48.8	49.9	46.9	47.5	45.9	49.7	47.5	47.7
家計動向関連	48.1	45.9	45.7	48.9	48.2	47.2	48.9	50.9	46.8	46.8	43.9	50.2	46.3	46.6
企業動向関連	47.3	45.4	49.3	50.0	48.7	50.0	45.1	45.8	45.9	47.9	46.6	47.2	48.6	49.3
雇用関連(参考)	53.8	47.5	48.8	53.8	57.5	55.3	55.0	51.3	50.0	51.3	56.6	51.4	52.6	51.3

※DI（Diffusion Index）について…50を基準とし、50を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成30年8月25日～31日

回答者数 175/189名、回答率92.6%(全国1,861/2,050名、90.8%)

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：伊藤 好春）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-225-1426 FAX：022-225-0082

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（コンビニ）…この夏の酷暑により、飲料及びアイス類の売上が増加している。ただし、全体的な売上の動きとしては、個人消費の急激な上昇とはなっていない。

（自動車整備業）…引き合い件数、受注件数共に増加している。また、受注単価も高水準を維持している。

（設計事務所）…客からの業務発注や見積依頼、問合せなどが増えている。震災後、建設コストの高騰から事業を見合わせていた事業者が、東京オリンピック関係工事の最盛期を過ぎてもコストがなかなか下落しないことから、事業を実施したほうが優位と判断し計画を進めようとしているのではないかとみている。

（リフォーム業）…工事の問合せは前月より減少しているが、増改築などの大型工事により売上が増えている。

（金属製品製造業）…新規の引き合いが増加していることに加えて、多少価格が高くても構わないと強く依頼を受けることが増えている。

（建設業）…大型公共工事などの受注により、景気は拡大傾向にある。

（飲食料品卸売業）…天候が前年と比べて良いため、天候に左右される商品の動きが非常に良い。これも景気が良くなっていることで販売につながっているのではないかとみている。

○「変わらない」

（商店街）…猛暑続きで客足が遠のいていたところに、よりもよって地元の大きな祭りの開催期間中はずっと天候に恵まれなかった。道路中央部にアーケードのない商店街では、来街客が激減状態となっている。

（百貨店）…来客数は減少しているものの、高額商材が堅調に推移しているため、客単価は向上している。ただし、中盤以降秋物へと切り替わる衣料品については、気温が高く動きが鈍い。

（スーパー）…暑さの影響か、農産品、畜産品の品質が低下しており、高価格が続いたにもかかわらず、8月の平均1品単価は1%強の前年割れとなっている。来客数の動きも鈍く、購入点数の動きも前月同様の推移であり、全体としての消費の傾向に変化はない。

（衣料品専門店）…猛暑の影響で夏物商材の動きが良い反面、秋物商材が立ち遅れており、更にビジネス衣料も盛り上がっていないため、結果としてプラスマイナスゼロの状態である。

（家電量販店）…猛暑により夏物商材の販売が好調である反面、期待していた4Kテレビの売行きは余り芳しくない。高付加価値の有機ELテレビなども、良い商品が出てきているにもかかわらず、伸び悩んでいる。販売量が増えないということで、年末からの4K放送がどうなるのか懸念が残る。

（乗用車販売店）…新型車の効果が大きく、販売量はある程度好調に推移している。ただし、既販車種の状況は芳しくない。中古車販売は順調な伸びを示しているものの、価格帯が低いため利益にはつながりにくい。そのため、全体的に大きな変化はみられていない。

（ガソリンスタンド）…猛暑の影響で需要が増えると期待したが、燃料油単価の高止まりにより、販売量は増えていない。

（一般レストラン）…8月はお盆の帰省もあり、来客数は例年と同様の数字となっているものの、県外からの客と地元客では客単価に開きが出ている。収入の差というよりは地元で元気がないことが原因ではないかとみている。今後の経済の動きがつかめないため、節約モードに入っている消費者が多いとみている。

（観光型旅館）…宿泊単価を下げたり、飲み物付きの販売を行ったりしても、状況に改善の兆しがみられていない。また、大雨などの自然災害の影響でキャンセルも発生している。

（通信会社）…12月開始のBS4K8K放送に向けて、新たなサービスメニューの展開を進めているが、4Kテレビや4Kチューナーへの興味をもっている客がまだ少ない。猛暑続きに客の購買意欲も夏休み状態になっている。ただし、家電メーカーを中心に広告展開が進んでくれば、客の取り込みも期待できる。

(観光名所) …繁忙期である8月上旬～お盆期間中の天候に恵まれず、船が出港できないことで、キャンセルが相次いでいる。そのため、景気の判断をしかねる月となっている。

(住宅販売会社) …消費税の引上げを意識する客が多くなってきており、確実に受注量が増えている。

(人材派遣会社) …なかなか採用のできない企業が、ホームページ、SNS、パンフレットなどの採用にかかわるツールに金を掛けて活動している状況が続いている。

○「やや悪くなっている」

(住関連専門店) …来客数が減少している。商店街で外国人観光客が目につくようになったものの、売上にはなかなか結び付いていない。

(都市型ホテル) …猛暑の影響かレストランの来客数が減少している。また、宿泊数、法人関連の宴会数も前年を下回っている。

(旅行代理店) …国内の団体旅行が減少している。また、個人旅行は国内、海外共に予約数が減少しており、いずれも前年比80%となっている。

(美容室) …8月は猛暑の影響により、最低限の来客数となっている。

(農林水産業) …5～7月はほとんど雨が降らずに干ばつ状態であったため、最盛期の桃は小玉で例年より2ランクも小さい。また、収穫も農協の取扱が前年の6割となっている。

(食料品製造業) …地元の祭りは、開催期間に雨が続いたことと、曜日まわりも悪かったため、土産品はかなり苦戦した。その後のお盆の帰省は長期休みの人が多かったのか好調であったが、休み明けは動きが悪くなり、月全体としては大きくマイナスになる見込みである。

(公認会計士) …建設関係はまだ利益を計上している企業が多いが、小売業関係は売上、利益共に減少幅が大きくなっている。

(新聞社【求人広告】) …求人数をみる限り地元は伸びておらず、景気上昇感は余りみられていない。一部の地域は雇用機会が増えてそれなりの伸びをみせているが、それ以外の地域は慢性的な人手不足のため格差が開く一方である。特に復興の担い手であった物流を中心に、運転手などの人手が不足しているという声が高まっている。

(職業安定所) …平成24年4月～平成30年4月まで連続して5千人を超えていた月間有効求人数は、5月以降5千人を下回っている。3か月前と比較すると6.8%減少、前年同月と比較しても7.5%減少している。また、新規求人数を産業別でみると、医療、福祉は前年同月と比較して増加しているが、建設業、製造業、サービス業、卸売業、小売業は減少していることから、景気はやや悪いと判断している。

○「悪くなっている」

(医薬品販売店) …来客数は3か月前と比較して更に減少しており、客単価も良くない。8月の来客数や売上としては、震災直後や消費税率8%への引上げ後の8月よりも悪く、ここ数十年の中でも最も悪い数字となっている。

(通信業) …官房長官の発言により株価が下がっている。また、その発言を受けて電話料金が安いという客が増えている。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(衣料品専門店) …まだまだ暑いなか、オールシーズンあるいは秋物を購入する客が増えている。前年よりも客の動きが良く、これだけ暑かった夏の反動もあり、衣替えはスムーズに進むのではないかとみている。

(家電量販店) …4K放送のスタート前のため、チューナー、テレビ、有機ELテレビなどの売上が出てくるという期待をしている。

(ショッピングセンター) …台風などの不安要素はあるものの、全体的な来客数の動きに変化はなく、今後とも安定的な集客が望める。また、秋以降のファッションの動きにも期待している。

- (観光型ホテル) …この夏は暑さの影響もあり個人客の動きが良くない。ただし、秋口の予約状況からは、団体旅行に関しては今月よりも良くなるとみている。
- (都市型ホテル) …8月は地元高校野球部の思わぬ善戦によりにぎわった。また、観光面でも当県は人気があり、来県の動機となる案件も増えてきている。そのため、この先年度内の販売量としては前年並みに推移するものの、にぎわいは前年を上回るとみている。
- (司法書士) …保有目的が不明確となった不動産の売却に関する事例が増えている。この流れは当面続くとみている。
- (飲食料品卸売業) …この先は秋の行楽シーズンに突入する。また、猛暑を脱して気温が下がることによる消費の回復に期待している。

○「変わらない」

- (百貨店) …衣料品が占める割合が高いため、高気温の状態が続くと厳しくなる。ただし、この夏の商況でも消費マインドは悪くないため、季節商材の動きは少しずつ良くなっていくとみている。
- (スーパー) …8月後半からの恵みの雨で農作物や畜産物に良い影響が出てくるとみている。サンマも豊漁との話を聞いており、生鮮品はお手頃価格で販売できることを期待している。ただし、全体的な消費の傾向は変わらないとみている。
- (食料品製造業) …出張、旅行、イベントなどが期待できず、売上を見込めるような大きな人の動きがないため、余り変わらないとみている。
- (金融業) …有効求人倍率は高止まりが続いている。また、民間非居住用建築物に関わる設備投資が前年を上回る推移となっている。
- (新聞社〔求人広告〕) …地場企業では大手に人材が流れており、受注調整が必要という悩ましい状況となっている。
- (職業安定所) …求人者における人手不足感は強いが、若年労働力の確保、退職技術者の確保など、企業経営の継続を理由としたものへとシフトしており、派遣求人は減少傾向にある。

○「やや悪くなる」

- (酒類販売店) …最近は大気による影響が大きく、そこに災害などが伴うことも少なくない。不安要素の方が圧倒的に多く、地方経済はまだまだ苦しい状況が続くとみている。
- (コンビニ) …10月のたばこ増税により、来客数の減少が見込まれている。
- (一般レストラン) …これだけの回数の台風がくると、夜に外出をすることはなかなか難しい。何かあったらと考えて外出が控えられるため、個人消費が落ち込むとみている。
- (観光名所) …平成30年7月豪雨の影響なのか、一時的に関東方面の客足がこちらに向かっているように見受けられるものの、今後は元に戻るとみている。地元の景気は回復しているわけではなく、異常気象による農産物の価格高騰による家計への影響が懸念される。
- (農林水産業) …転作作物のそばの減収により、売上はもちろん補助金の数量払いも期待できない。
- (窯業・土石製品製造業) …景気が回復するようなプロジェクトや工事が少ない。さらに、原材料の値上げや運送コストの増加がみられている。
- (人材派遣会社) …地元において大手製造業の大型募集が予定されており、周辺及び隣県の採用市場にまで影響を与えている。雇用自体は増えるものの、影響を受ける企業の業績に悪影響を及ぼす可能性がある。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上